

情報公開文書

研究課題名	骨盤臓器脱に対する腔式子宮全摘術、前後膈壁形成術の術後経過に関する検討
研究体制	長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	当 院 所 属 <u>産婦人科</u> 氏名 <u>今西 俊明</u>
研究期間	(西暦) 倫理委員会承認日 ~ 2025年12月
研究の概要	<p>(研究の意義・目的・方法)</p> <p>骨盤臓器脱に対する治療は大きく変化しつつあります。伝統的な術式は腔式子宮全摘術と前後膈壁形成術ですが、近年 TVM (tension-free vaginal mesh) 手術や腹腔鏡下仙骨膈固定術などが注目を集めています。これらの新しい術式は伝統的術式と比較して再発率が低いことが利点の一つとされています。当院産婦人科では伝統的術式で手術を行ってきていますが、術後再発を主訴に再診する患者は多くなく、再発率を含めて当院での術後長期経過については不明です。</p> <p>このような背景から骨盤臓器脱に対する伝統的術式による、再発率を含む治療成績を調査し、骨盤臓器脱手術に対する適切な術式選択について診療録や電話調査により検討します。</p>
試料・情報	<p>(試料・情報の項目)</p> <p>年齢、経産回数、BMI、術前診断、術前症状、手術時間、出血量、手術合併症、術後入院日数、再発の有無、再発時期、症状、追加治療の有無</p>
研究対象者	<p>2011年1月から2020年12月までに当院で骨盤臓器脱手術をおこなった123名</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報の保護	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。</p>
お問い合わせ先	<p>〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>産婦人科</u> 氏名 <u>今西 俊明</u></p> <p>TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439</p>